

学生セッション 受賞者発表

最優秀賞

- ST01-04 背側縫線核セロトニン作動性神経の集合 Ca^{2+} 活動は NREM 睡眠中に振動現象を示す
中原 楊 (慶應義塾大学 医学部 先端医科学研究所 脳科学研究部門)
-

優秀賞

- ST02-01 線虫 *C. elegans* において糖依存的に塩嗜好性を变化させる分子機構
梅村 悠介 (東京大学 理学部 生物化学科)
- ST02-04 ラット大腸運動のグレリンアゴニスト誘発性増強の性差における脊髄の GABA の役割
宇藤 有汰 (名古屋市立大学)
-

奨励賞

- ST01-01 橋における呼吸調節に関わる TRPA1 の作用
榎谷 直子 (兵庫医科大学 生理学・生体機能部門)
- ST01-02 マウス ES 細胞を用いた遺伝子導入によるダイレクトリプログラミングからの視床下部室傍核神経細胞分化
目良 義也 (藤田医科大学 医学部 生理学講座)
- ST01-03 薬物依存モデルマウスにおける大脳基底核の神経活動異常
田口 湧也 (名古屋市立大学)
- ST01-05 転写制御因子の遺伝子導入によるマウス ES 細胞の視床下部腹内側核および弓状核神経への分化誘導
塚本 舜也 (藤田医科大学 医学部 生理学講座)
- ST02-02 胎生期低栄養による儉約型体質ラットの絶食・再摂食後の体組成の変化
森田 有喜 (日本医科大学 生理学)
- ST02-03 ラットの運動後骨格筋の冷却は p38 MAPK を介してミトコンドリアの分裂を誘導する DRP1 の Ser616 リン酸化を促進する
工藤 大樹 (札幌医科大学 医学部 細胞生理学講座)
- ST03-01 心拍動開始後のラット胎仔の心臓原基におけるサルコメア形成と筋原線維構成分子発現の特徴
山崎 寛也 (札幌医科大学 医学部 細胞生理学講座)
- ST03-02 SGLT2 阻害薬であるエンパグリフロジンは心筋細胞において急性の機械刺激誘発性 ROS 産生を抑制する
金井 秀太 (旭川医科大学 医学部 医学科)
- ST03-03 レスベラトロールの母体投与によって、胎児ラットの動脈管収縮が誘発された
向後 雅史 (東京慈恵会医科大学)
- ST03-04 野生型トロポニン T 過剰発現はトロポニン T 変異型拡張型心筋症を部分的に改善する
前谷 浩史 (東京慈恵会医科大学)
- ST03-05 宇宙飛行は、マウスの肝細胞の脂肪滴の形態学的変化を誘発する
原口 高伸 (東京慈恵会医科大学 細胞生理学講座 宇宙航空医学研究室)